

# 自然観察 NOW

No. 75

野幌森林公園自然情報

発行: 2023年11月4日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <https://voluran.com/>



## 花の後に輝く 果実や種子を探してみよう

秋になると、多くの花が散ってしまって少し寂しい気持ちになることがありますね。でも、秋には花の代わりに色とりどりの果実が見られるようになります。果実は花がそこにあった証拠で、花の命を受け継ぎ種子を育てています。果実や種子は花が変身した姿とも言えますね。

秋の自然観察では、花だけでなく果実や種子にも目を向けてみましょう。その役割や戦略が分かるかもしれない。花の続きの物語、是非ゆっくり観察してみてください。

今回はこの時期に観察される果実について「形態の違い」から分けた分類で紹介します。

さて問題！ タンポポの果実はどの分類でしょうか？ あれ？どこが果実だったかな・・・。

### ●<sup>たんか</sup>単果（1つの花が成熟してできたもの）

#### <乾果で裂開する果実（<sup>れっかいか</sup>裂開果）>

【袋果(たいか)】離生心皮の雌しべが袋状の果実となったもので、果実の腹部で縦に裂開する。

→ トリカブト、キタコブシ

【豆果(とうか)】1心皮からなる1本の雌しべからできた果実で、果実の腹と背の両側で裂ける。

→ シロツメクサ、ヤブマメ

【蒴果(さくか)】2心皮以上の多心皮性子房からなり、心皮の境または背部で縦に裂ける。

→ オオウバユリ

【角果(かくか)】細長い4枚の心皮からできた長い果実で、このうちの2枚にだけ種子をつけ、

他の2枚は熟して落ちる。→ ナズナ



キタコブシ  
(袋果)



シロツメクサ  
(豆果)



オオウバユリ  
(蒴果)



ナズナ  
(角果)

#### <乾果で裂開しない果実（<sup>へいか</sup>閉果）>

【瘦果(そうか)】果皮が薄く、その中に包まれた1種子があり1か所で果皮とつながる。

→ セイヨウタンポポ、ミミコウモリ

【穎果(えいか)】瘦果に似ているが果皮と種子が分離できず薄い皮となり、穎に包まれたままで落ちる。→ イネ科

【翼果(よくか)】果皮の一部が翼状に張り出している果実。→ カエデ、シラカンバ

【堅果(けんか)】堅い革質の果皮があり、その中は1室で1個の種子がある。

→ シナノキ、ミズナラ (殻斗果)

【節果(せつか)】豆果のようにしてできるが、裂開せず1室ごとに横に割れて落ちる。→ ヤブハギ

【分離果(ぶんりか)】 多くの子房からできていて、熟すと心皮ごとに離れて分果となる。  
→ ゲンノショウコ

				
セイヨウタンポポ (瘦果)	カエデ (翼果)	シナノキ (堅果)	ヤブハギ (節果)	ゲンノショウコ (分離果)

<sup>たにくか</sup>  
＜**多肉果** (果肉が肉質で裂けないもの)＞

【液果(えきか)】 果皮のうちの中果皮がとくに多肉化し、液状となる果実。→ハイイヌガヤ、イチイ

【石果(せきか)】 (核果) 中果皮が多肉化し、内果皮が堅い核をつくる果実。

→ オニグルミ、ツタウルシ

【うり状果】 子房室が一つで、側膜胎座をもち、そこに多数の種子のある液果状の果実。

【なし(りんご)状果】 多くの子房を包む花托(花盤)が肥大して多肉化した果実。

【みかん状果】 中果皮はパルプ状で、内果皮は毛状となり、そこに果汁を蓄えた果実。→ キハダ

<sup>しゅうごうか</sup>  
● **集合果** (多くの花が花序のまま成熟して出来たもの)

【いちご状果】 花托が肥大して多肉多汁になり、表面に多くの瘦果をつける。

【きいちご状果】 わずかに肥大した花托にたくさんの石果をつける。

【ばら状果】 壺(つぼ)状の花托が肥大し、花托の内面に多くの瘦果が入っている。

【はす状果】 花托が漏斗(ろうと)状になっていて、成熟すると、ここに多くの小さい孔ができ、ここに堅果が一つずつ入っている。→ ハス

<sup>ふくごうか</sup>  
● **複合果** (複数の花に由来する複数の果実からなるまとまった構造)

【いちじく状果】 陰頭花序の壺状の部分が多汁多肉となり、内側に子房が発達した小さい果実ができる。

【その他】 複合果の一種 → モミジバスズカケノキ(瘦果型)、コウライテンナンショウ(液果型)等

			
ハイイヌガヤ (液果)	ツタウルシ (石果)	モミジバスズカケノキ (複合果瘦果型)	コウライテンナンショウ (複合果液果型)

答え) 「瘦果」 (なるほど!そうか、そうか・・・)



参考文献: 日本大百科全書(ニッポニカ) 小学館、Wikipedia、中西弘樹「種子はひろがる」(平凡社)  
(文責: 蔵谷 徳洋)

観察会予定

2024年1月7日(日) 円山登山観察会 10:00~12:30 円山八十八か所登山口集合

3月21日(木) 森の中で春をさがそう 9:50~11:30 自然ふれあい交流館集合